

基礎研究強化に向けた長期方策検討WGの設置について

平成21年2月5日
基本政策推進専門調査会

1. 主 旨

基礎研究は、大きなブレークスルーを創出し、持続的なイノベーションを生み出し、我が国の国際競争力の土台となるものである。未曾有の経済危機にある今こそ、長期展望に立って、基礎研究を強化することにより、新分野の開拓、画期的研究の展開を図り、世界トップクラスの科学技術を創出・発展させ、我が国の国際競争力を長期に亘って高めることが求められる。こうした認識の下、基本政策推進専門調査会の下に、「基礎研究強化に向けた長期方策検討ワーキンググループ(基礎研究WG)」を設置する。

2. 検討事項

基礎研究の意義

基礎研究強化に向けた研究資金の改革

若手研究者の育成等、基礎研究強化に向けた研究システムの改革

国際競争力の高い大学等、トップ拠点の形成

その他

3. WGメンバー

座 長	本 席	佑	総合科学技術会議議員
	今 榮	東洋子	総合科学技術会議議員

	有 信	睦 弘	株式会社 東芝 顧問
	家	泰 弘	東京大学物性研究所 所長
	笹 月	健 彦	国立国際医療センター 名誉総長
	高 井	義 美	神戸大学大学院医学系研究科 教授
	田 中	成 明	関西学院大学大学院司法研究科 教授
	中 西	友 子	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
	中 村	栄 一	東京大学大学院理学系研究科 教授
	沼 尾	正 行	大阪大学産業科学研究所 教授

その他の総合科学技術会議議員は、アドバイザーとして、随時参加
検討事項に応じて、上記以外の外部専門家をオブザーバーとして招聘する。

4. スケジュール

平成21年2月下旬頃 第1回WG

21年3月以降 関係府省・関係機関等からヒヤリングを行いつつ、月1回程度の会議開催

21年5月頃目途 WGにおける中間報告案のとりまとめ

以後引き続き検討